

<平成28年2月16日記者会見 予算概要市長コメント>

平成28年度予算の編成作業が、このほど終了しましたので、その概要についてご説明いたします。

なお、概要には、平成27年度補正予算に計上し、28年度に繰り越した上で実施する事業についても含まれております。（注：補正予算計上事業には下線を付しています。）

予算編成方針では、少子高齢化・人口減少の進行や、TPP協定交渉の大筋合意など、地域社会への多大な影響が見込まれるなか、これらの課題に的確に対応し、今後も市民が安心して、未来に希望をもって暮らしていけるように、これまで以上に、十勝帯広の豊かな資源や強みを活かしながら「フードバレーとかち」のさらなる推進を図っていく必要があるとの考え方にに基づき、

『持続可能な地域経済をつくる』

『未来を拓くひとをつくる』

『安心できるまちをつくる』

の3つの重点を設定しました。

編成作業にあたっては、国の一億総活躍社会の実現や、TPP関連政策大綱の実現に向けた補正予算等の活用など、平成27年度補正予算と一体的に進めてきたところです。

また、政策・施策評価の結果やサマーヒアリングでの議論等を踏まえ、限られた財源のなかではありますが、将来を見据えた事業の選択と集中を図りながら取り組んでまいりました。

その結果、平成 28 年度予算は、十勝帯広の豊かな資源を活かした地域経済の活性化や、地域を支える人材の育成、ひとにやさしく快適で安心できる暮らしの実現など、持続可能なまちづくりに向け必要となる経費を盛り込んだ予算になったと考えております。

それでは、お手元の資料「平成 28 年度予算重点施策」をご覧ください。

この資料は、予算編成方針でお示した 3 つの重点に基づき、平成 28 年度予算を整理したものです。中央に、まち・ひと・しごとの創生と、好循環を目指す「地方創生」の推進として、本資料に記載されている主な総合戦略の事業費を示しております。総合戦略の推進を核としながら、好循環が 3 つの重点施策全体に波及することにより、幅広い成果を生み出していきたいと考えております。

では、順次、この資料に沿って、主な事業を中心に説明いたします。

はじめに、『持続可能な地域経済をつくる』です。

「農業の振興・TPP対策」につきましては、ICTを活用した農業の省力化・低コスト化の普及による生産性向上を図るため、GPS基地局の設置を支援するほか、受信側である農業者のGPSガイダンスシステム等導入に係る経費を新たに資金貸付の対象とするなど、制度融資事業を拡充してまいります。また、加工用馬鈴薯の作付拡大に対応した選別貯蔵施設の整備費用の一部について支援するほか、中小企業のHACCP導入効果や支援制度などを網羅した事例集を作成してまいります。

「商工業振興・イノベーション創発」につきましては、様々な人材が相互に触発する知的混血により新事業を創発し、創業・起業の好循環を生み出す仕組みづくりに向け、起業家育成事業や付加価値の高い事業計画作成支援など、十勝・イノベーション・エコシステムの取り組みを実施してまいります。

「観光振興・交流促進」につきましては、十勝におけるアウトドア活動のブランド化に向けた調査など、体験・滞在型観光を推進するほか、とかち帯広空港の旅客ターミナルビル増築に係る整備費用の一部について支援するなど、交流人口の増加を図ってまいります。

「景気対策事業」につきましては、一部平成27年度補正予算を含め、21億634万8千円の事業費を計上しました。地域経済の状況は、基調としては着実に持ち直しているとされているものの、経済の好循環の実現が地域の隅々まで十分に進展しているとはいえない状況にあることから、国の経済対策を活用するほか、規模や時期、環境などに配慮しながら、一定規模の公共事業や雇用対策事業を実施することが必要であると判断したものであります。

つぎに、『未来を拓くひとをつくる』です。

「少子化対策、子育て支援の充実」につきましては、子ども・子育て支援新制度の充実に向け、認定こども園等への給付を開始するほか、(仮称)第2緑ヶ丘児童保育センターの整備をすすめてまいります。また、男性の育児休業取得を促進するため、子育て応援事業所促進奨励金の見直しを図ってまいります。

「教育環境等の充実」につきましては、学校を核として活動するボランティアなどの取り組みに対する支援のため、こども学校応援地域基金を創設するほか、知的学級の新設など特別支援教育を充実してまいります。また、学校トイレの洋式化などの学校環境の整備をすすめるほか、新たな総合体育館の整備に向け、事業用地の取得などをすすめてまいります。

「人材の育成・確保」につきましては、コミュニティ活動の担い手育成の取り組みをすすめるほか、帯広畜産大学と連携して、若者が牽引するしごとづくり・まちづくりを推進してまいります。また、首都圏等から地方への人の流れをつくる取り組みとして、UIJ ターン希望者への情報発信及びテレビ会議システムを活用した就業相談などを実施してまいります。

最後に、『安心できるまちをつくる』です。

「防災・安全安心」につきましては、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車を更新するほか、既存空家等の対策及び新たな放置空家等の発生抑制に向け、総合相談窓口の設置や空家データベースの作成などを実施してまいります。

「地域包括ケア・高齢者福祉」につきましては、第六期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき生活支援サービスの体制整備を推進するため、生活支援コーディネーターを配置するほか、認知症初期の状態において、適切な医療や介護ケアを開始できるよう、認知症初期集中支援を実施してまいります。

「障害者福祉」につきましては、手話の理解及び普及を目的とする手話言語条例の制定に併せ、出前講座等による市民への周知・啓発のほか、手話通訳者、要約筆記通訳者派遣手当単価の増額等を図ってまいります。

「公共施設等の適切な管理」につきましては、公共施設を長期的視点で計画的に管理・活用するため、（仮称）公共施設マネジメント計画を策定するほか、コミュニティ施設の耐震化等を実施してまいります。

「良好な環境の確保」につきましては、家庭で使用するエネルギーを節約するための管理システム（HEMS）導入を実施するほか、家庭から出る庭木の剪定枝の無料受け入れを実施してまいります。

「社会基盤の整備」につきましては、社会保障・税番号制度の個人番号カード交付事務の円滑な実施をすすめるほか、（仮称）清流の里福祉センターを整備してまいります。

以上が、平成28年度予算の重点施策の概要であります。

最後に予算規模につきましては、

一般会計は、	837億3,100万円であり、前年度当初予算対比	2.4%の増、
特別会計は合計で、	518億2,400万8千円であり、前年度当初予算対比	3.5%の増、
企業会計は2会計で、	151億7,132万9千円であり、前年度当初予算対比	1.0%の減、
全会計で	1,507億2,633万7千円であり、前年度当初予算対比	2.4%の増

となっております。

各会計別の予算規模及び事業の詳細につきましては、お手元の資料をご覧ください。

なお、これらの予算案につきましては、3月1日招集予定の議会に提案し、ご審議いただくことになっております。